

## 1. 評価結果概要表

作成日 平成19年 7月12日

## 【評価実施概要】

事業所番号	3671600272
法人名	社会福祉法人 白寿会
事業所名	グループホーム 御所
所在地	徳島県阿波市土成町宮川内字神田133番地1 (電話) 088-695-5533
評価機関名	社会福祉法人 徳島県社会福祉協議会
所在地	徳島県徳島市中昭和町1丁目2番地
訪問調査日	平成19年 7月 5日

## 【情報提供票より】(平成19年 6月20日事業所記入)

## (1) 組織概要

開設年月日	平成17年 8月 1日
ユニット数	2 ユニット
職員数	14 人
利用定員数計	18 人
	常勤13人, 非常勤1人, 常勤換算 ユニットA 5.5人, ユニットB 7人

## (2) 建物概要

建物構造	鉄骨 造り
	2 階建ての 1 階 ~ 2 階部分

## (3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	10,000 円	その他の経費(月額)	光熱水費5,600円~6,200円, 寝具リース費2,000円, その他実費	
敷 金	有( 円)		(無)	
保証金の有無 (入居一時金含む)	有( 円)	有りの場合 償却の有無	有/無	
食材料費	朝食	180 円	昼食	300 円
	夕食	300 円	おやつ	150 円
	または1日当たり 円			

## (4) 利用者の概要( 6月 20日現在)

利用者人数	17 名	男性	6 名	女性	11 名
要介護1	3 名	要介護2	5 名		
要介護3	7 名	要介護4	1 名		
要介護5	1 名	要支援2	0 名		
年齢	平均 81 歳	最低 68 歳	最高 97 歳		

## (5) 協力医療機関

協力医療機関名	医療法人 美摩病院 ・ つかさクリニック ・ うやま歯科医院
---------	--------------------------------

## 【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

のどかな田園の中に立地し、近くにハーブ公園、散歩コース、併設施設、幼稚園等がある。「恵まれた環境と人づくりは素晴らしいケアを提供できる」をモットーに、職員は笑顔と穏やかな態度で接している。利用者の落ち着いた様子が十分うかがえる。ボランティアの受け入れや、地域活動に参加したりと地域の一員としても積極的に取り組んでいる。

## 【重点項目への取り組み状況】

重点項目①	前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)
	常に利用者視点に於てケアと職員を育てる取り組みが研修計画に明確に示されており、その姿勢がこれからのケアに更に活かされることを期待したい。
重点項目②	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
	全職員で話し合い、サービス向上につとめ、ミーティング等で報告されていた。評価は常時閲覧できるようにしている。
重点項目③	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6)
	日頃の取り組みや方針が話し合われ、委員会で出された意見は、全職員に伝達されていた。自己評価についても、職員の話し合いの中で行われており、行政、包括支援センターとの連携も図られている。
重点項目④	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8)
	面会や行事をとらえて、近況が伝えられ、変化が生じた時はすみやかに報告されていた。家族との会話は話しやすい環境づくりがなされており、会話を通して家族の思いの把握に努力されている。
重点項目④	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
	地域住民の一員として、介護予防講習の講師役として、また、学校との連携、ボランティア活動への参加、保育園児との交流等、地域活動や行事に積極的に取り組んでいる。

## 2. 評価結果（詳細）

（  部分は重点項目です ）

取り組みを期待したい項目

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
1. 理念と共有					
	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	地域密着型サービスとしてのホームの役割を理解して、全職員で考えた理念であり、地域の中でその人らしく生活を支えるための理念がつけられている。		
	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	毎日、ミーティングで理念について話し合い、職員の目につきやすい所に掲示し、日々のケアに反映されている。		
2. 地域との支えあい					
	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	地域住民の一員として、介護予防講習の講師役、また、学校との連携、ボランティア活動の参加、保育園児との交流等、地域活動や行事に積極的に取り組んでいる。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	自己評価は全職員で話し合っている。サービスの質の向上を図るため、ミーティング等において改善に向けた取り組みをされている。		
	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	日頃の取り組みや方針が話し合われ、会議で出た意見は職員に伝えられており確認印もされている。	○	半年に1回しか開催できていないので、今後、2ヶ月に1回の開催を目指して、委員に働きかけていく取り組みが期待される。

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	契約等変更の際には、その都度報告に出向いたり、地域包括支援センターとの連携も図られている。また、ホーム便りも送付されている。		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている	面会時や行事をとらえ、状態や状況を伝えられており、状態に変化が生じた時はすぐ報告し、記録されている。金銭管理についても家族の確認印がされている。		
8	15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	家族との会話の中で話しやすい環境づくりがなされ、また、会話を通して職員が利用者や家族の不満などに気づくことや感じることに努力している。		
9	18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	最小限の異動につとめられ、異動した職員には、引き継ぎ等がスムーズに移行できるよう配慮され、信頼関係がそこなわれないよう努力されている。		
5. 人材の育成と支援					
10	19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	研修には順番に参加するなど積極的な姿勢がうかがえ、内容を報告する仕組みもできている。	○	更にスキルアップを目指して勉強会、研修会に取り組み、利用者の立場に立ったホームづくりを目指している姿勢が感じられたので今後の取り組みに期待したい。
11	20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	西部ブロックグループホーム研修担当を引き受けるなど、横のつながりや交流を通して、サービスの質の向上につとめられている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	本人、家族に見学してもらい、十分に話し合い、納得した上で徐々に馴染みながら柔軟に支援するよう工夫されている。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜ぶ哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	昔なつかしい「草もち」の作り方とか、人生の大先輩の方々と共に過ごしているという思いをもって、日々生活を共にする取り組みができています。		
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	利用者一人ひとりの話に耳を傾け、声かけを行い一日の行動の中で、職員が利用者の意向をくみとり、気づきにつとめている。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	利用者の視点にたった、その人らしい生活を送ることができる介護計画が作成されている。		
16	37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	実状に応じた見直しがされ、家族の意向も十分入れた無理のない見直しがされている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>3. 多機能性を活かした柔軟な支援</b>					
17	39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	医療との連携を活かし、健康管理に留意したホームでの生活ができるよう支援体制ができています。		
<b>4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働</b>					
18	43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	本人、家族が希望する主治医となっており、必要時に往診できるようにもなっています。また、複数の医療機関とも受診できるよう支援ができています。		
19	47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	重度化対応指針を作成し、同意も得ていた。		
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
<b>1. その人らしい暮らしの支援</b>					
<b>(1)一人ひとりの尊重</b>					
20	50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	プライドを傷つけない支援がなされており、個人情報保護につとめ職員に周知されている。		
21	52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	個々のペースを大切にした支援ができています。(散歩とか、買物、犬との散歩等)		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援</b>					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	旬の食材を使い、一緒にできる人には手伝ってもらって、準備、片付けがされている。(ブドウ、みょうが、みょうがの葉、盛りつけも工夫されていた)		
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	本人の希望によって、ゆったりと入浴できる支援がなされて、拒否する方には言葉かけや、職員を替えるなどの工夫もされている。		
<b>(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援</b>					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	地域の保育園、幼稚園児とのふれあいの場を提供したり、ホームで飼っている犬の散歩をしたり、一人ひとりの役割や、楽しみごとを作り出す支援がされている。		
25	61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	買物や花づくり等、戸外に出る機会を積極的に取り入れ、外の空気に触れる時間を作っている。		
<b>(4) 安心と安全を支える支援</b>					
26	66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	併設施設や地域の方々に理解を求め、協力を得てホーム全体で見守りを行い、鍵をかけないケアに取り組んでいる。		
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	地域の消防団の協力体制と年2回の避難訓練が実施されている。	○	災害に備えて、非常食の準備を検討されており、今後の実践に期待したい。

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	定期的に栄養士にチェックしてもらい、一人ひとりに合わせた調理や味付け、盛りつけの工夫もされている。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	季節の花や、行事が取り入れられ、7月には七夕飾りがされ、思い思いの願いを書いた短冊がかけられていた。また、共用空間に懐かしい物、馴染みの物が取り入れられ、家庭的な空間づくりに配慮されている。		
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	本人の好みを大切にした居心地のよい部屋作りができており、花の好きな方には花も飾られている。		